様式３

企画提案審査方式による選定結果一覧表

公　表　項　目		内　　容				
１　契約名		令和８年度「やまなし」ブランドの価値創出に向けたメディア統合的コミュニケーション業務委託契約				
２　審査年月日		令和８年６月１２日				
３　評価基準、配点及び評価		株式会社ＡＴＯＭ	Ａ社	Ｂ社	Ｃ社	Ｄ社
	業務に対する理解度・基本的な考え方（配点：20 点×審査委員５名）	72	64	66	52	60
	業務に関する企画提案内容（配点：50 点×審査委員５名）	164	157	150	138	130
	業務実施計画（配点：10 点×審査委員５名）	32	31	30	29	30
	評価指標（ＫＰＩ）（配点：10 点×審査委員５名）	31	32	31	32	30
	業務実施体制（配点：10 点×審査委員５名）	32	33	31	29	29
	過去の実績・類似する業務の経験・専門知識（配点：10 点×審査委員５名）	32	31	25	28	27
	価格（配点：10 点×審査委員５名）	50	50	50	50	50
４　総合評価の審査結果		413	398	383	358	356
５　契約の方法		企画提案審査随意契約				
６　落札者(契約者)の名称		株式会社ＡＴＯＭ				
７　契約締結年月日		令和８年６月２５日				
８　契約金額(税込)		４６，８６０，０００円				
９　随意契約の理由及び根拠法令		本業務は、「やまなし地域プロモーション戦略」に基づき、広く県内外の人々を対象として、オウンドメディア、ペイドメディア、アーンドメディアの三つの領域を統合的にマネジメントし、県の魅力ある地域資源の効果的な情報発信を通じて、県のコーポレートブランド「やまなし」の価値向上を図るもの。 現在、社会環境およびメディア環境は多様化・高速化が進んでおり、複数の媒体特性を理解した高度なコミュニケーション設計、データ分析に基づくブランド価値の可視化、話題創出の企画力など、職員が持ち得ない専門性の高い知識と実務ノウハウが不可欠である。また、最新のプロモーション手法の研究・活用、県庁内の複数所属に対する助言・マネジメント支援、外部メディアとの連携構築など、行政内では対応が困難な専門技術と実装力が求められる。そのため、本業務を実施するためには、専門性を有する事業者の知見を活用する必要がある。 このため、公募型プロポーザル方式により、企画内容等を評価し、事業内容として優秀で、県にとって有利な提案をした事業者を契約の相手方に決定する。 （根拠法令）地方自治法施行令第１６７条の２第１項第２号				
10　所属名		高度政策推進局地域ブランドグループ				